

提供日 2021/07/08

タイトル 3次元点群データを活用した崩壊土砂量及び補足土砂量の推定

担当 交通基盤部建設政策課未来まちづくり室

連絡先 054-221-3396

3次元点群データを活用した崩壊土砂量及び補足土砂量の推定

(建設政策課未来まちづくり室)

1 要旨

熱海市で発生した土石流災害について、被災前後の3次元点群データを比較し、地形差分図を作成することにより、源頭部崩壊土砂量及び砂防ダムによる補足土砂量を推定した。

推定した土砂量については、7月8日赤羽国土交通大臣の現地視察で報告した。

2 概要

源頭部崩壊土砂量 : 約 55,500m³

砂防ダム補足土砂量 : 約 7,500m³

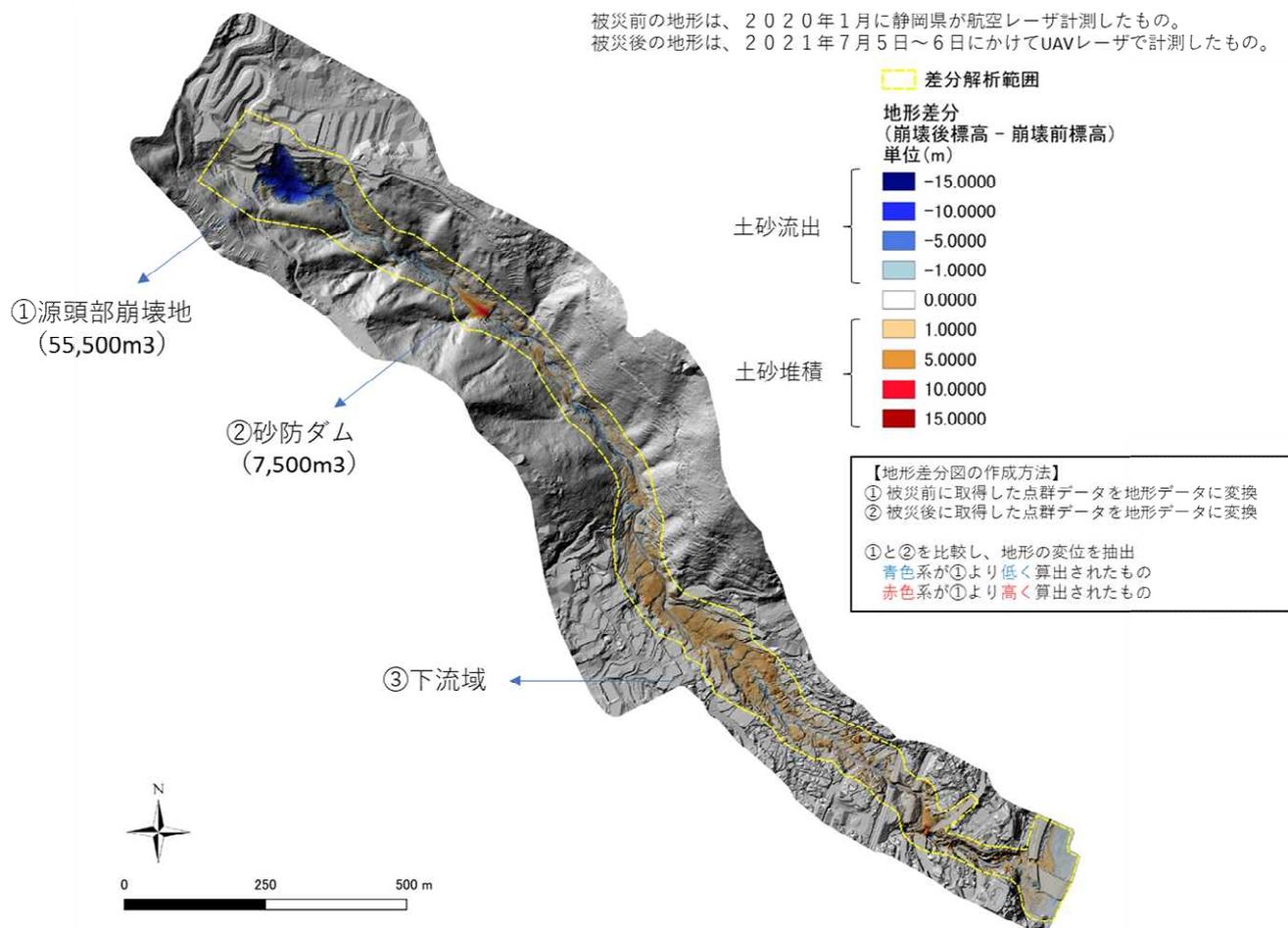
崩壊前地形データ : 2020年1月静岡県取得

崩壊後地形データ : 2021年7月5,6日株式会社ウインディネットワーク

株式会社東日

3 地形差分図

3次元点群データによる地形差分図



3次元点群データによる地形差分図

被災前の地形は、2020年1月に静岡県が航空レーザ計測したもの。
被災後の地形は、2021年7月5日～6日にかけてUAVレーザで計測したもの。

